

HDE Controller X

1-25. SNMPエージェント

1. システム情報設定

SNMP(Simple Network Management Protocol)は、ネットワーク機器を管理するための規約で、多くのベンダーが SNMP に対応した機器を開発しています。SNMP を用いたネットワーク管理は、管理する側(マネージャー)と管理される側(エージェント)で構成されます。エージェントは、管理情報データベース(MIB)にエージェントの情報を保存します。なお、MIB には様々なものがあり、機器によって管理する情報が異なるため、どの MIB をサポートしているかはエージェントに依存します。マネージャーは、エージェントと通信して MIB を取得し、グラフ表示するなどしてネットワーク機器を管理します。

HDE Controller は、サーバーを SNMP エージェントとして利用するための設定を行います。SNMP エージェントとして、各ディストリビューションに含まれる net-snmp パッケージを利用します。このため、SNMP エージェントがサポートする MIB については、各ディストリビューションの net-snmp パッケージをご確認ください。

ここでは、システムの所在などを示すロケーション情報、システム管理者の名前やメールアドレスなどの管理者情報を設定します。

■ システム情報設定

MIB をアクセスすることにより、ここで設定した内容を取得できます。システムロケーション情報は、1.3.6.1.2.1.1.6.0、管理者情報は、1.3.6.1.2.1.1.4.0 という MIB から取得できます。

ロケーション情報にシステムの所在などを、管理者情報にシステム管理者の名前やメールアドレスを指定し、「設定する」ボタンをクリックします。

2. コミュニティ設定

ここで設定したコミュニティ名は、SNMP マネージャーから SNMP エージェントの MIB にアクセスする際に使用します。

コミュニティ設定

コミュニティの設定を行います。SNMPクライアントから、SNMPでこのサーバーの情報を取得する時に、コミュニティ名を指定してアクセスします。

このコミュニティに対して、セキュリティポリシーやアクセス元ホストを設定し、アクセス制御を行います。

コミュニティの追加

コミュニティ名

コミュニティー一覧

コミュニティがありません。

コミュニティ名を入力し、「追加」ボタンをクリックします。

コミュニティ名の変更

コミュニティ名

ルールの追加

セキュリティ名

アクセス元

ルール一覧

ルールがありません。

⚠ 設定ファイルに変更を反映するには、上のOKボタンを押し、次に表示されたページの下にある「設定する」ボタンをクリックして下さい。

このコミュニティ名を許可するアクセス元をルールとして追加します。ルールとして、「セキュリティ名」には任意の文字列を、「アクセス元」には SNMP マネ

ージャーのアドレスを入力し、「追加」ボタンをクリックします。ルールの有効がチェックされていることを確認してください。また、不要なルールが設定されている場合は、有効のチェックを外してください。確認したら「OK」ボタンをクリックします。

コミュニティ名の設定画面に切り替わったら、「設定する」ボタンをクリックします。

3. セキュリティグループ設定

ここでは、コミュニティ設定で割り当てたセキュリティ名と、SNMP マネージャーと通信する際のセキュリティモデル(v1,v2c など)を対応付けたルールを、セキュリティグループとして割り当てます。



SNMP マネージャーがサポートするセキュリティモデルを指定していないと SNMP による監視は行えません。よく知られている SNMP マネージャー多くは、v1、v2c のいずれか、または、両方をサポートします。

セキュリティグループ名を入力し、「追加」ボタンをクリックします。

セキュリティグループ設定

セキュリティグループ設定では、「コミュニティ設定」でコミュニティを割り当てられたセキュリティ名に、セキュリティモデルを指定し、グループ化します。

このグループを「アクセス権限の設定」で指定することで、グループ毎にアクセスを制御できます。

セキュリティグループの追加

セキュリティグループ名

セキュリティグループ一覧

グループが見つかりません。

ルールの追加で、このセキュリティグループで利用できるセキュリティモデルをプルダウンメニューから選択、セキュリティ名を入力し、「追加」ボタンをクリックします。

セキュリティ名はコミュニティ設定で指定したものをを入力します。「一覧」ボタンをクリックすることにより、設定されているセキュリティ名を表示、選択することもできます。

設定したルールの「有効」がチェックされていることを確認してください。また、不要なルールが設定されている場合は、「有効」のチェックを外してください。

確認したら「OK」ボタンをクリックします。

セキュリティグループ設定画面に切り替わったら、「設定する」ボタンをクリックします。

4. ビュー設定

ここでは、SNMP マネージャーからアクセス可能な MIB の範囲をビュー名として設定します。

ビュー設定

ビューを設定します。ビューはSNMPで参照できるMIBツリーの範囲を決定するものです。

このビューを元に、読み込み専用、書き込み可能などのアクセス制御を「アクセス制御」で設定することになります。

ビューの追加

ビュー名

ビュー一覧

ビューがありません。

ビューの追加で、ビュー名を入力し、「追加」ボタンをクリックします。

ルールの追加で、以下の MIB ツリーを含めるか、除外するをプルダウンメニューから選択し、サブツリーと必要に応じてマスクを入力し、「追加」ボタンをクリックします。設定したルールの「有効」がチェックされていることを確認してください。

また、不要なルールが設定されている場合は、「有効」のチェックを外してください。確認したら「OK」ボタンをクリックします。

ビューの設定画面に切り替わったら、「設定する」ボタンをクリックします

5. アクセス制御設定

ここでは、コミュニティ設定、セキュリティグループ設定、ビュー設定などで割り当てた内容を用いてセキュリティグループごとのアクセス制御を設定します。

有効	セキュリティグループ	コンテキスト	セキュリティモデル	セキュリティレベル	プレフィックス	読み込みビュー名	書き込みビュー名	通知ビュー名	アクション
<input type="checkbox"/>	notConfigGroup	***	全て	認証なし	完全一致	review	rview	none	<input type="button" value="削除"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	notConfigGroup	***	全て	認証なし	完全一致	systemview	none	none	<input type="button" value="削除"/>

アクセス制御ルールの追加で、「追加」ボタンをクリックします。

⚠ 設定ファイルに変更を反映するには、上のOKボタンを押し、次に表示されたページの下にある「設定する」ボタンをクリックしてください。

ルールの追加で、アクセス制御の設定対象となる「セキュリティグループ名」を入力します。

引き続き、「セキュリティモデル」、「読み込みビュー名」、「書き込みビュー名」、「通知ビュー名」を指定します。なお、SNMP マネージャーから全ての MIB を参照できる(書き込みや通知は不可)ようなアクセス制御を設定する場合は、書き込みビュー名と通知ビュー名は none を指定します。



セキュリティモデルに、SNMP マネージャーがサポートするものが指定されていないと SNMP による監視は行えません。

